

10年後の生活から考える自分らしい進路選択

株式会社リクルート 近藤様による進路講演会

9月24日（木）、1年次を対象に進路講演会を実施し、株式会社リクルートの近藤様を講師としてお招きしました。講演では、ご自身の就職や転職の経験をもとに、進路を選ぶときに大切な視点について、具体的なお話をしていただきました。



ご自身の経験を交えて講演する近藤様



講演を聞く生徒たち

こんなはずではなかったを防ぐために

近藤様は、新卒で金融機関に就職したものの、入社前に抱いていたイメージと実際の職場との違いに悩み、半年ほどで出社が難しくなった経験を紹介されました。当時は「35歳で年収1000万円」「全国転勤を経験し、最後は本社で働く」といった大まかな将来像を描いていましたが、仕事の内容や職場の雰囲気、休日の過ごし方など、実際の生活を具体的に想像できていなかったと振り返られました。

進路は10年後の生活から考える

講演では、社会に出た後に進路選択を後悔する人が少なくないことに触れ、「どのような仕事をしたいか」だけでなく、収入、勤務時間、住む地域、家族、住居、車など、10年後に送りたい生活を具体的に考えることの大切さが示されました。また、転職は必ずしも簡単ではないため、進路を選んだ理由と、その実現に向けてどのように努力してきたかを自分の言葉で説明できることが重要だと話されました。

生徒から多くの質問

質疑応答では、生徒から、現在の資産や資産運用、結婚と働き方、実家暮らしでの家族とお金の考え方など、率直な質問が次々に出ました。近藤様は、ご自身の経験や具体的な数字を交えながら、一つ一つ丁寧に答えてくださいました。生徒にとって、進学先や職業だけでなく、その先にある暮らしまで含めて自分の将来を考える貴重な機会となりました。